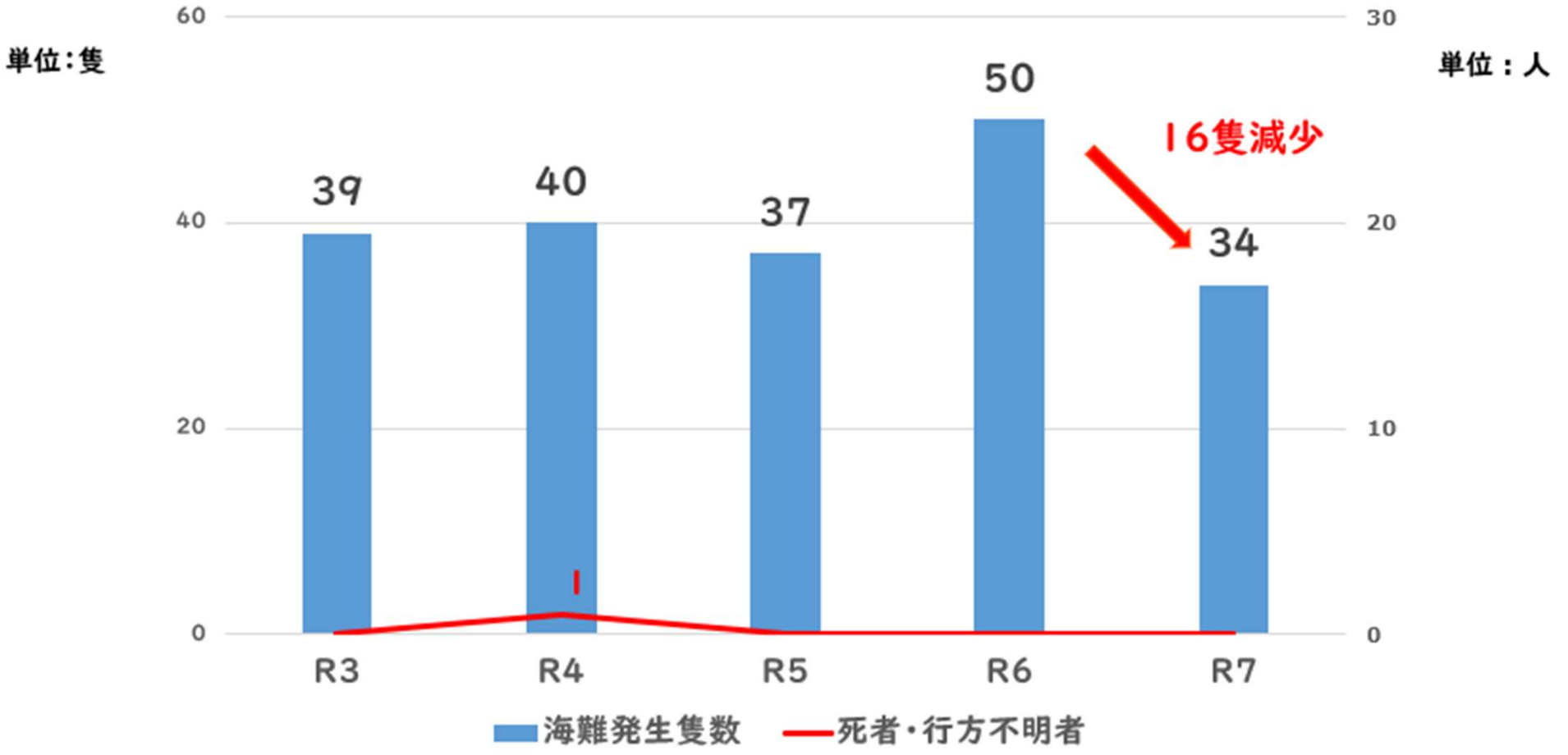
公益社団法人 東京湾海難防止協会
千葉地域連絡会

連　絡　事　項

千葉海上保安部航行安全課

令和８年７月14日

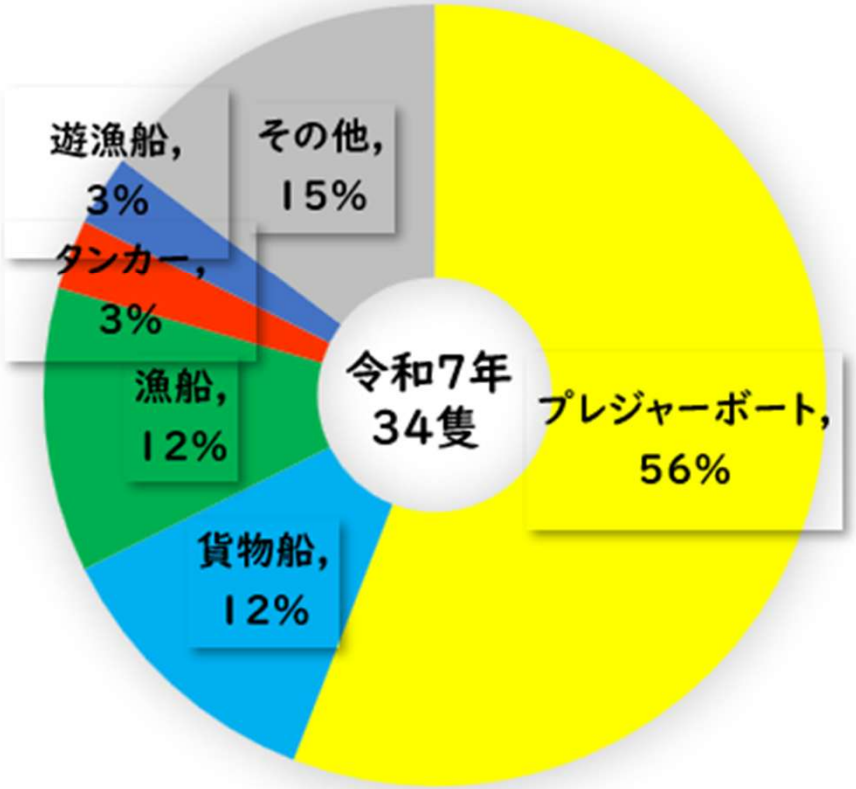
船舶事故隻数



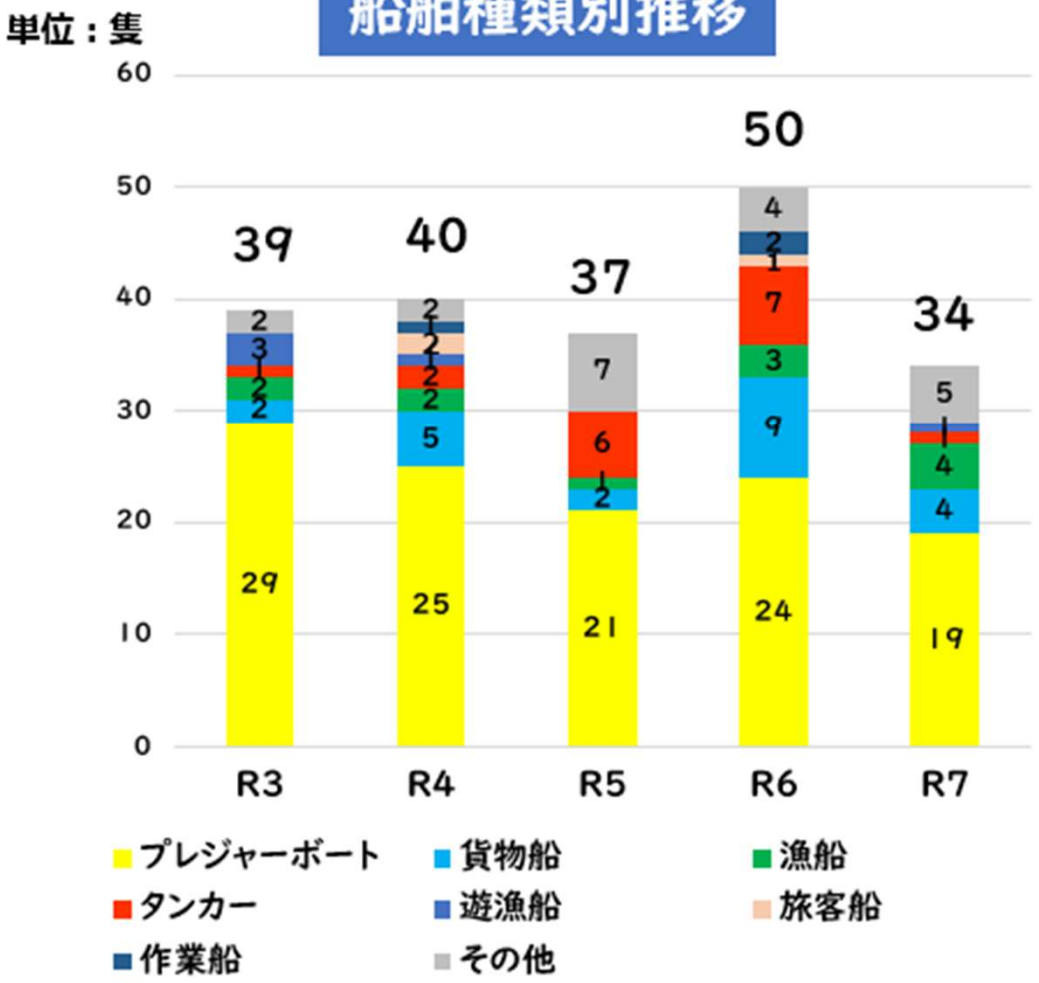
令和7年発生隻数は34隻、死者・行方不明者は0人

船舶事故発生状況

船舶種類別割合

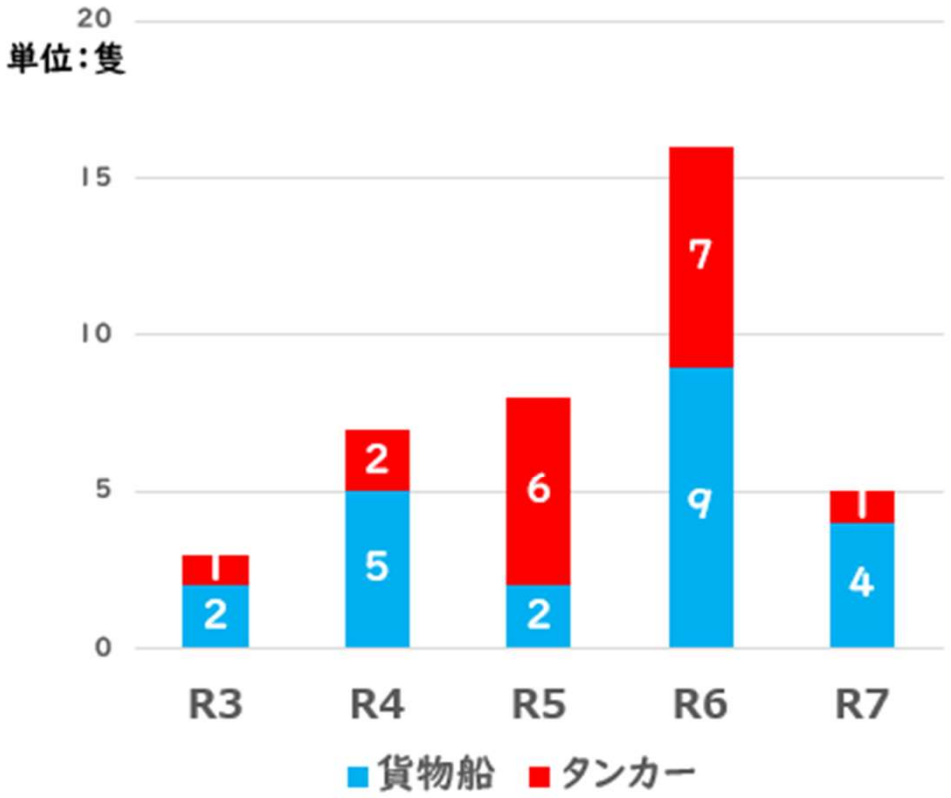


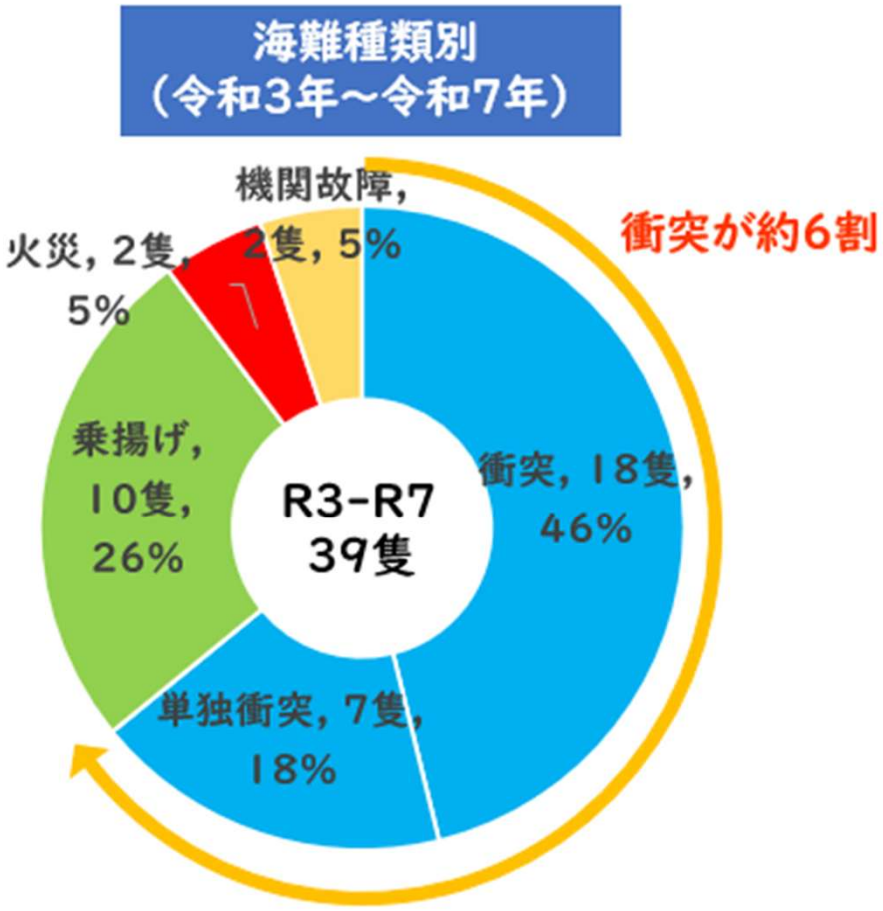
船舶種類別推移



・半数以上がプレジャーボートによる事故
・貨物船とタンカーの事故はは合わせて15%程度

貨物船・タンカーの事故発生状況

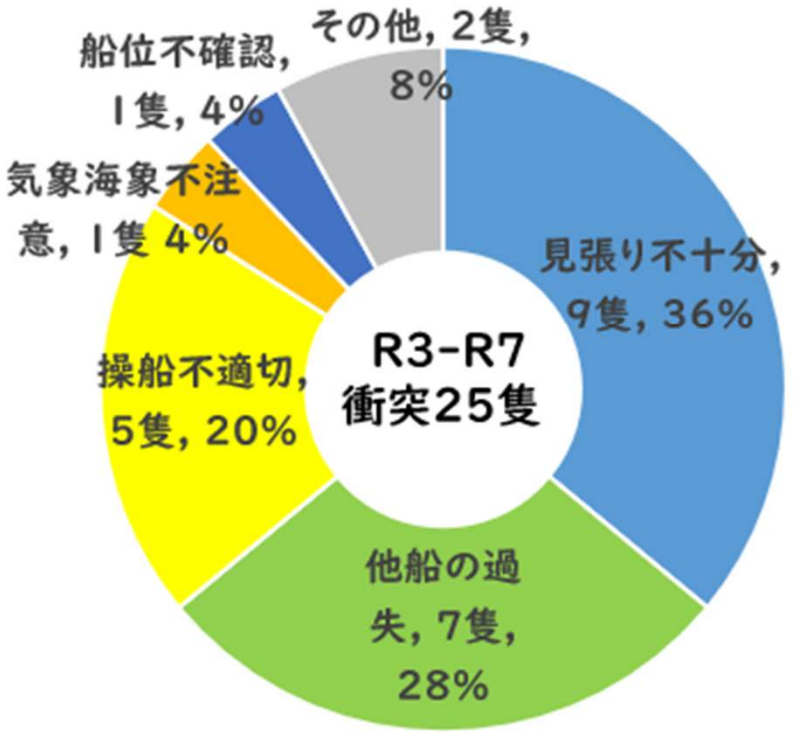




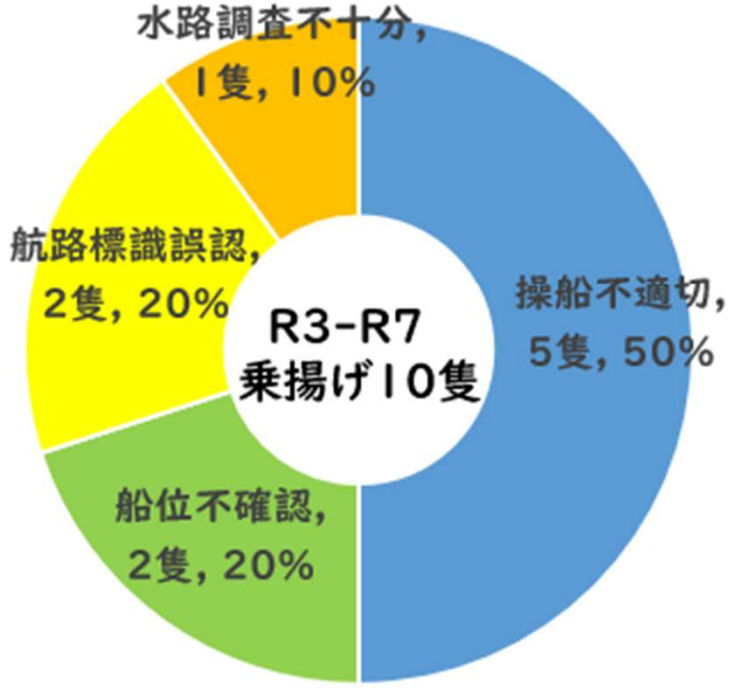
・貨物船とタンカーの事故では衝突（単独衝突を含む）が多く、約6割を占める
・次いで、浅瀬への乗揚げが多い

貨物船、タンカーの船舶事故発生状況

衝突原因内訳（令和3年～令和7年）



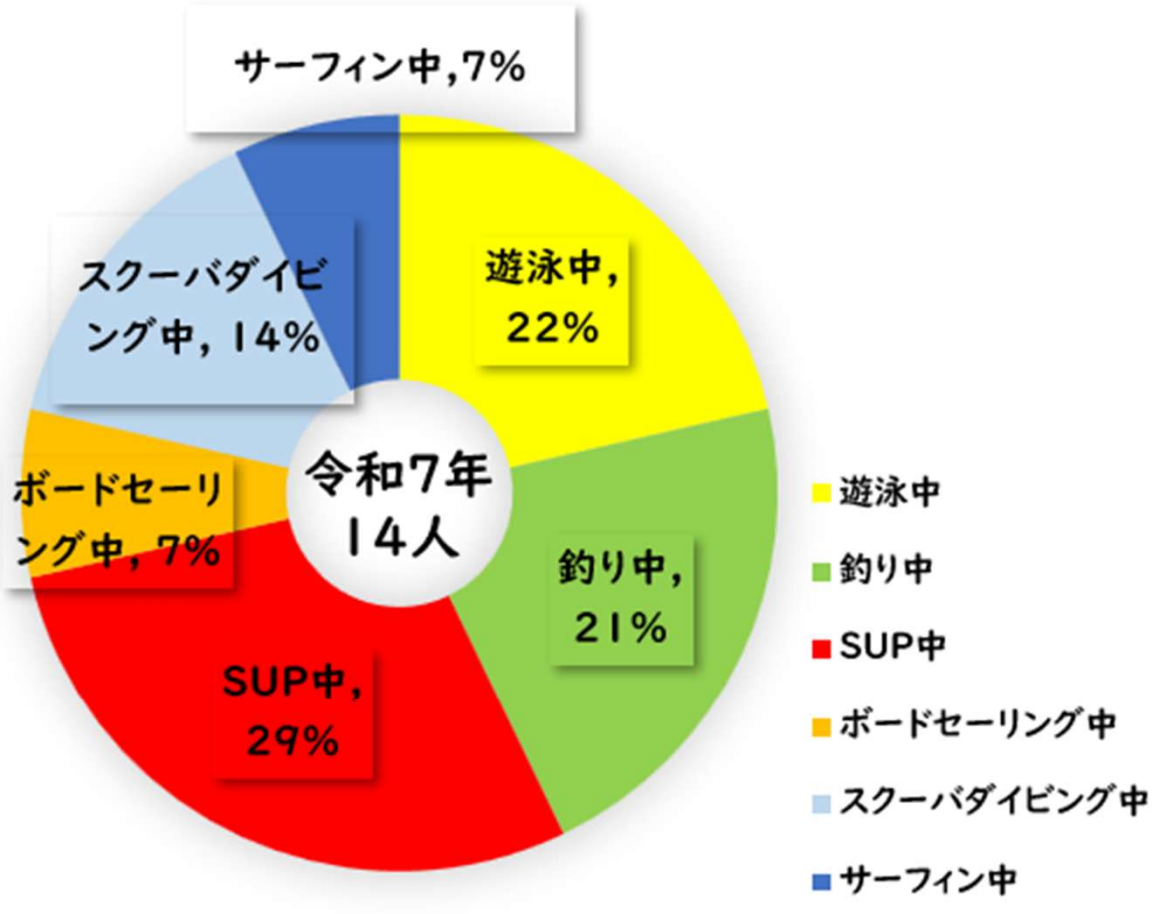
乗揚げ原因内訳（令和3年～令和7年）



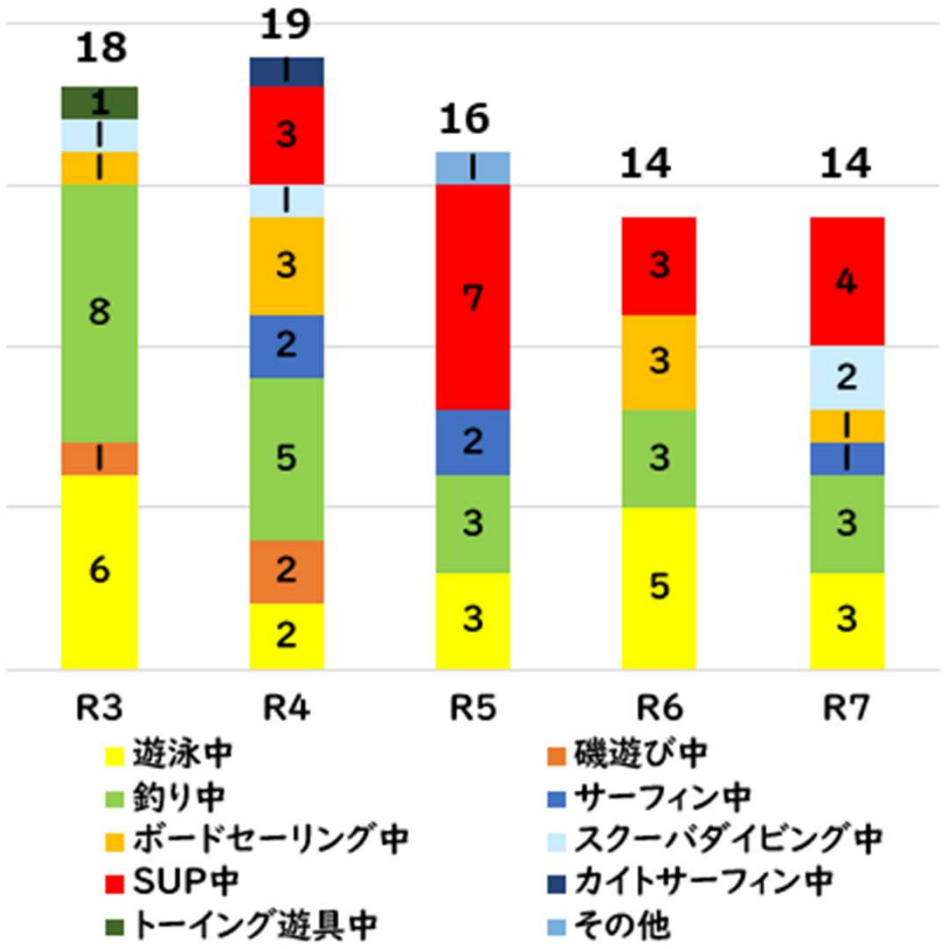
・入出港時における衝突は、25隻中6隻
・貨物船、タンカーの乗揚げは浅瀬が多い

マリンレジャーに伴う人身事故発生状況

マリンレジャー種類別割合



マリンレジャー種類別推移



・令和7年の人身事故は14人。遊泳中、釣り中の事故のほか、SUP中の事故が多い。

（1） 市川水路付近における貨物船の乗揚げ

【概要】

令和7年11月12日0710頃、内航貨物船（499トン）船長は、市川の岸壁から出港後、市川水路を南に航行していたところ、北航船を視認。

舵を右に切って航過したが、乗組員との業務打ち合わせに没頭し、舵を戻すのを失念したため千葉港市川第1号灯浮標付近の浅瀬に乗揚げたもの。

・市川水路付近において、昨年4隻の乗揚げが発生。

・灯浮標の誤認や操船不適切によるものが多い

(2)タンカーの乗揚げ(走錨に起因するもの)

【概要】

事故ｹﾐｶﾙﾀﾝｶｰ(499ﾄﾝ)、令和8年4月7日1740市原市姉崎沖に錨泊したが、強風の影響により同日2150走錨を始め、同2210市原市千種海岸付近の護岸消波ﾌﾞﾛｯｸに乗揚げたもの。

・最新の気象情報の入手
・適切な錨鎖の使用
・VHFの常時聴取

(3) RORO船の乗揚げ

【概要】
事故RORO船（11,687トン）は、令和8年6月19日未明、大阪から東京向け航行中のところ、伊豆利島の北西部岩場に乗揚げたもの。

・適切な当直体制の維持
・見張りの徹底

千葉港台風・津波等災害防止要綱

今一度ご確認ください

別表１　台風等における警戒体制

区分	発出の時期	船舶等の措置
第一警戒体制	台風等が千葉港に接近するおそれがあると判断された場合	1　在泊船舶は台風等の動向に留意し、必要な荒天準備を整えること。 2　荷役中の船舶は、天候の急変に備え荷役を中止出来るように準備するとともに、危険物荷役・港内工事作業については、中止基準を遵守すること。 3　ＡＩＳ搭載船はＡＩＳの作動を維持すること。 ＶＨＦ装備船は常時ＶＨＦを聴守（国際ＶＨＦｃｈ１６）すること。 4　岸壁・桟橋等水際線付近にある物件等の高潮、高波、強風による流出防止を強化すること。 5　その他必要事項
第二警戒体制	台風等が千葉港に接近する公算が極めて大なりと判断された場合、或いは千葉港が重大な影響を被るものと判断された場合	1　総トン数５００トン以上の船舶は離岸又は離桟して万全の措置をとること。 2　総トン数５００トン未満の船舶は安全な場所に避難すること。 3　ＡＩＳ搭載船はＡＩＳの作動を維持すること。 ＶＨＦ装備船は常時ＶＨＦを聴守（国際ＶＨＦｃｈ１６）すること。 4　耐航性の不足等により離岸又は離桟することが適当でないと判断される船舶が岸壁で待機する場合は、係留強化の対策を講じること。 5　木材等流出防止のための厳重な見回り監視体制を強化すること。 6　その他必要事項

別表３　津波等に対する対応措置表

津　波　等　に　対　す　る　対　応　措　置

区分		津波来襲までの時間的余裕	船舶	
			港内岸壁船	
			大型船、中型船（漁船を含む）	小型船
			危険物積載船 / 一般船舶（荷役・作業船含む）	プレジャーボート、小型漁船等
津波第一警戒体制（津波注意報）	津波注意報 1m （0.2m＝予想高さ＝1m）		荷役・作業中止 係留継続又は港外退避	陸揚げ固縛又は係留強化の後 陸上避難 （場合によっては港外退避）
津波第二警戒体制（津波警報）（大津波警報）	津波警報 3m （1m＜予想高さ＝3m）	無し	荷役・作業中止 係留継続	陸上避難
		有り	荷役・作業中止 港外退避 / 荷役・作業中止 港外退避又は係留継続	陸揚げ固縛又は係留強化の後 陸上避難 （場合によっては港外退避）
	大津波警報 10m超 （10m＜予想高さ） 10m （5m＜予想高さ＝10m） 5m （3m＜予想高さ＜＝5m）	無し	荷役・作業中止 係留継続又は陸上避難	陸上避難
		有り	荷役・作業中止 港外退避	陸揚げ固縛又は係留強化の後 陸上避難 （場合によっては港外退避）
南海トラフ地震警戒強化	南海トラフ地震臨時情報 （巨大地震警戒）			
南海トラフ地震注意	南海トラフ地震臨時情報 （巨大地震注意）			
注意事項		※　気象庁の津波注意報、津波警報、大津波警報発表時点をもって、港長からの勧告情報 ※　ＶＨＦ装備船は常時ＶＨＦを聴取（国際ＶＨＦ　１６ｃｈ）し、ＡＩＳ搭載船は常時 ※　津波に関する情報等について、可能な限り入手に努めること。 ※　南海トラフ地震情報に係る情報の入手に努めること。 ※　上記の表にとらわれず人命の安全を第一とし、状況に応じた最善の措置を講じること。		

4 連絡事項

・令和8年4月18日から5月6日：春の事故ゼロキャンペーン
　対象：各種マリンレジャー

・令和8年5月11日から5月31日：霧海難ゼロキャンペーン
　対象：一般船舶

・令和8年6月10日から6月30日：台風海難ゼロキャンペーン
　対象：一般船舶

・令和8年7月16日から8月31日：夏の事故ゼロキャンペーン
　対象：各種マリンレジャー

・令和8年10月1日から10月10日：秋の事故ゼロキャンペーン
　対象：各種マリンレジャー